

第2期森町人口ビジョン及び まち・ひと・しごと創生総合戦略

【概要版】



令和3年3月

森 町

目 次

はじめに	1
第2期森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略とは	1
計画期間	1
人口ビジョン	2
人口の現状と動態	2
人口の将来展望	3
目指すべき将来の方向性	3
まち・ひと・しごと創生総合戦略	4
基本的な考え方	4
施策・事業の実施にあたっての留意点	4
総合戦略の進行管理にあたって	5
森町まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像	5

■ はじめに

◆ 第2期森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略とは

森町では、人口減少や少子高齢化に対応するため2015（平成27）年10月に森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第1期人口ビジョン及び総合戦略」という。）を策定し、様々な施策を推進してきました。

第1期人口ビジョン及び総合戦略の計画期間が2020（令和2）年度で終了することから、森町の人口動態、社会情勢の変化、国・県の方向性を踏まえるとともに、第1期人口ビジョン及び総合戦略の効果検証を反映して「第2期森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「第2期人口ビジョン及び総合戦略」という。）を策定しました。

人口ビジョンでは、人口の現状分析を踏まえた将来展望を示しています。

総合戦略では、その将来展望を目標に、人口減少の克服と地域の自立的かつ持続的な活性化に向け、森町の実情に適した効果の高い独自の総合戦略を示しています。

◆ 計画期間

2021（令和3）年度から2025（令和7）年度の5年間

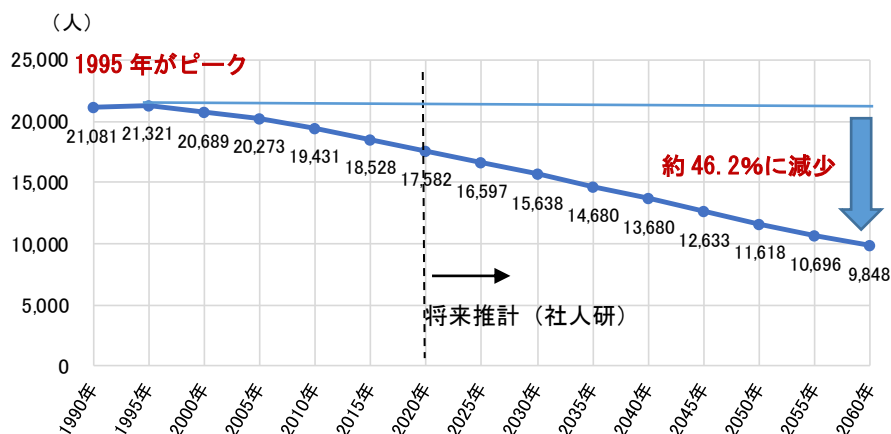
人口ビジョン

◆ 人口の現状と動態

○総人口は、減少が続き 2060（令和 42）年にはピーク時の約 46.2%（9,848 人）になる見込み

◎森町の総人口推移

- 1995（平成 7）年の 21,321 人をピークに減少が続いている
- 森町は 2020（令和 2）年以降も減少傾向
- 推計値では 2060（令和 42）年に 9,848 人となる見込みで、総計で 1 万人を下回る見込み

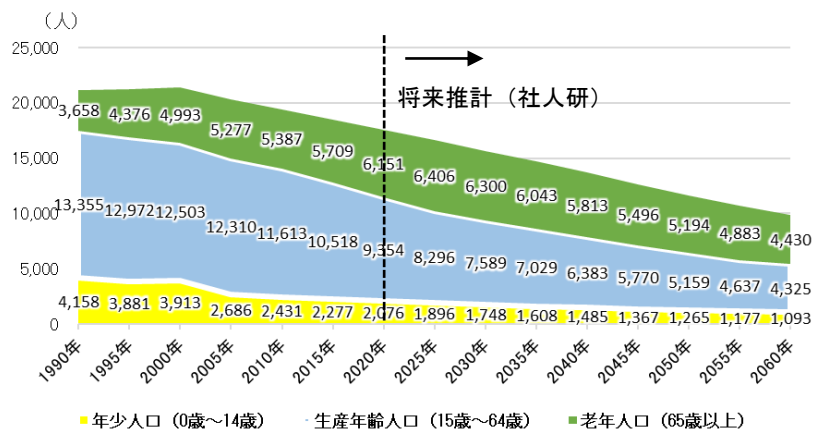


※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

○年齢別人口の推移は、2050（令和 32）年に老年人口が生産年齢人口を上回る見込み

◎年齢 3 区分人口の推移

- 年少人口（0 歳～14 歳）、生産年齢人口（15 歳～64 歳）の減少が続く
- 高齢化が進み、2050（令和 32）年に生産年齢人口と老年人口（65 歳以上）の比率が逆転
- 2050（令和 32）年以降は比率の差が開いていく見込み



◆ 人口の将来展望

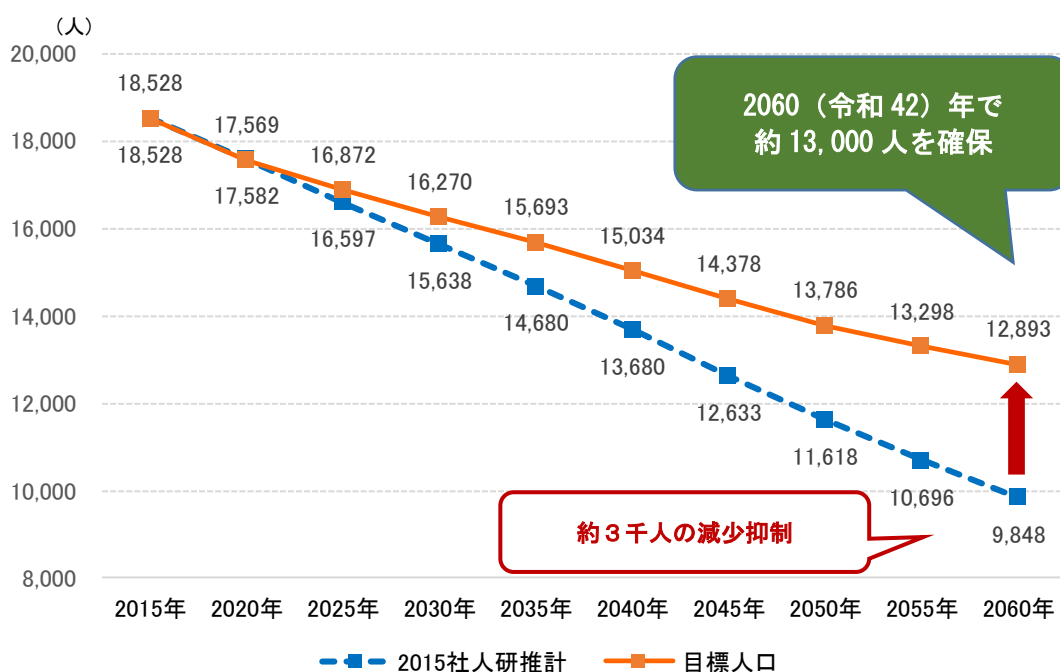
○人口減少を緩やかにする施策の着実な実施により 2060（令和 42）年に約 13,000 人を確保

◎出生率を向上する（合計特殊出生率）

- 2035（令和 17）年までに 2.07 を実現、2035 年以降もこれを維持する
- ・若い世代の婚姻率を高める
- ・町民が希望する子どもの数を実現する

◎社会移動を抑制する

- 2025（令和 7）年以降の社会移動（転出入数）を均衡とする
- ・家族形成期世帯の定住を促す
- ・進学等による流出人口の町内 U ターンを促す
- ・居住地としての魅力を高める



◆ 目指すべき将来の方向性

◆結婚・出産・子育て◆

- ・若年世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、人口減少に歯止めをかける。

◆町内定住◆

- ・家族形成期世帯の定住、一時転出層の呼び戻し、外部からの流入を促す。

◆地域経済の活性化◆

- ・産業の振興と地域内での安定的な雇用の確保や、地域資源を活かした新たなにぎわいを創出する。

◆生活環境の整備◆

- ・町民誰もが安全・安心に暮らせる生活環境を維持、整備する。

■ まち・ひと・しごと創生総合戦略

◆ 基本的な考え方

第2期総合戦略は、「2060年に13,000人を確保」することを目指し、将来にわたって、「**人が活き・人とふれあい・“森”に暮らす**」ことができるよう出生率の向上や社会移動の改善を図るため、今後5年間で重点的に取り組むべき施策・事業を位置づけています。

策定にあたっては、新しい時代の流れに沿い、遠州の小京都として森町の魅力をより高めるため、次に示す新たな視点を取り入れています。

《SDGs の位置づけ》

SDGsは「Sustainable Development Goals」の略で、「持続可能な開発目標」であり、国際社会共通の目標です。

森町において第2期総合戦略で取り組む目標の方向性は、国際社会全体の開発目標であるSDGsの目指す17の目標とスケールは違うものの、その目指すべき方向性は同様であることから、第2期総合戦略の推進を図ることによってSDGsの目標達成につなげていきます。



《新しい生活様式への対応》

新型コロナウイルス感染拡大の影響でニューノーマルと呼ばれる新しい生活様式が提唱されるなど、社会情勢が大きく変動しています。本計画においても時代の潮流に対応しながら施策や事業を実施していきます。都市部から地方部への移住の増加など、働き方の変化に伴う人の動きを踏まえ、森町への移住の推進などを実施します。

◆ 施策・事業の実施にあたっての留意点

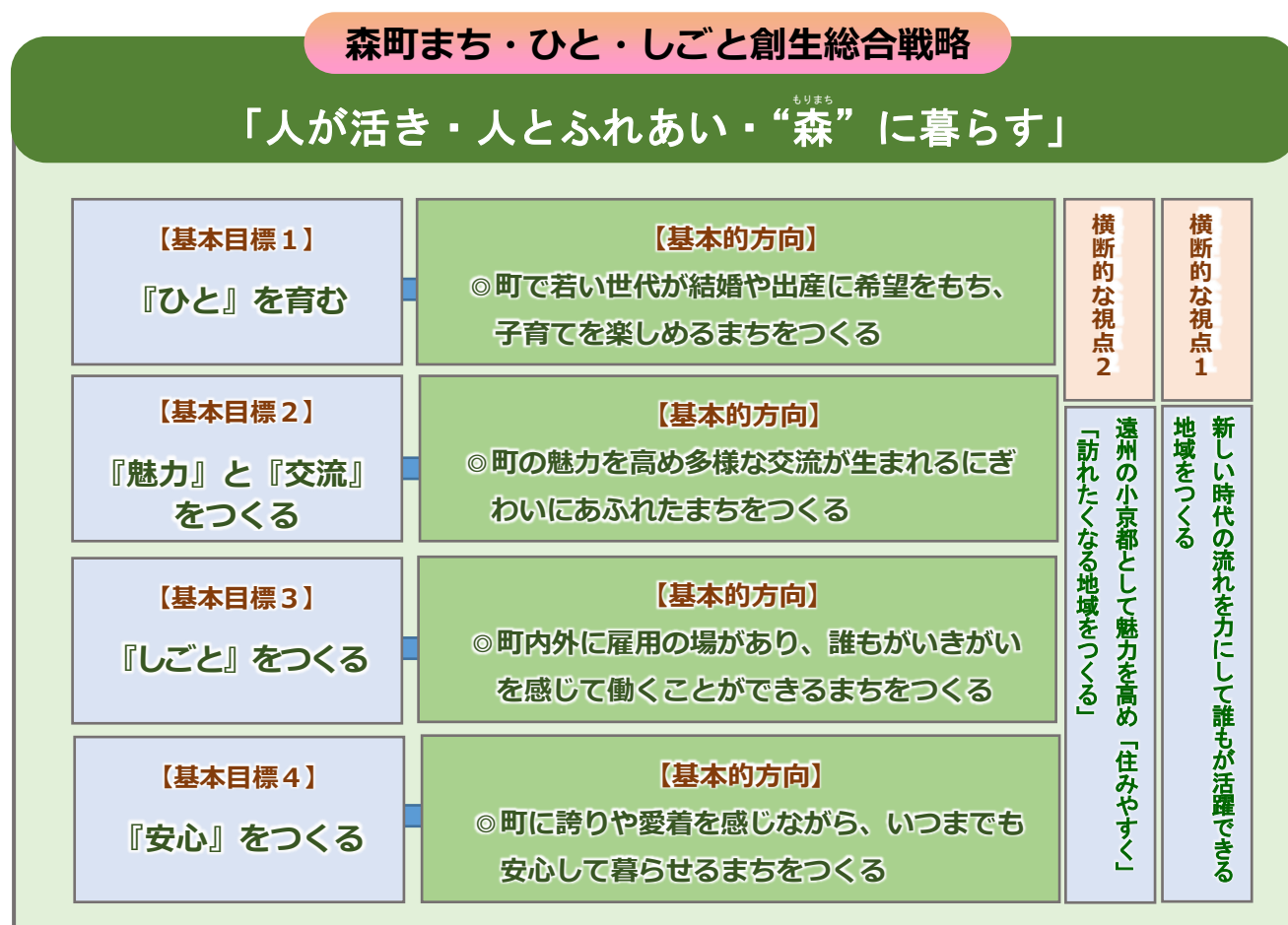
- 「出生率向上」と「社会移動の改善」に対し取組効果の高い具体的な事業を選別、重点的に実施
- 施策・事業は、戦略性をもった取組として実施（施策対象の絞り込み、事業効果の見込みを明確化）
- 施策・事業は、計画的な実施と進行管理を行う（町の財政状況、事業実施の効果・検証）
- 健全な財政運営、歳入の確保に努め、経済効果を高める視点で事業を実施

◆ 総合戦略の進行管理にあたって

第1期と同様に基本指標や重要事業評価指標（KPI）、施策の進捗、効果等について、毎年度の有識者委員会による評価を実施し、町民の皆様からのご意見等も参考にしながら PDCA サイクルに基づく継続的な改善を図ります。

◆ 森町まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像

森町人口ビジョン		【2060年に13,000人を確保する】	
◎出生率を高める	合計特殊出生率	2035（令和17）年までに2.07を実現、以降もこれを維持	◎社会移動を抑制する 2025（令和7）年以降の社会移動（転出入数）を均衡



基本目標 1	『ひと』を育む ～“森”に学び育つ～
基本指標	出生数 基準値 70 人 (R1) → 目標値 100 人 (R7)

施策の展開方向	具体的な施策	事業
(1) 子育て支援の充実 	①子育て支援体制の充実	こども医療費助成 / 児童館・子育て支援センターの運営 / 子育て世代包括支援センターの運営 / こども家庭総合支援拠点の設置 / 児童発達支援センターの整備（広域） / SNS 等を活用した子育て支援情報の発信・PR / 食育推進事業 / 子育てに必要な新たな経済的支援の創設と推進
	②保育・託児環境の充実	多様な保育サービスの提供（病児・病後児保育、幼稚園預かり保育の延長、認定こども園化の検討） / ファミリーサポートセンターの利用促進
KPI	基準値（R2） （実績値の場合は R1）	目標値（R7）
未就学児童（6歳未満）数	714 人	800 人
ファミリーサポートセンター子育て登録会員数 （依頼会員・協会員・両方会員）	97 人	160 人
施策の展開方向	具体的な施策	事業
(2) 若い世代の結婚・出産に対する意欲喚起 	①結婚相談・婚活支援	結婚相談事業 / 広域婚活事業
	②若年者への結婚・出産の啓発	子育て支援センター相談事業 / 高校と連携したキャリア教育（行政サポートの紹介）
	③結婚支援	結婚新生活支援に関する事業の創設と推進
	④出産支援	不妊治療費助成事業 / 妊婦・産婦健康診査 / 産後ケア事業 / 出産祝い金の交付
KPI	基準値（R2） （実績値の場合は R1）	目標値（R7）
婚姻届受理数	52 件	70 件
施策の展開方向	具体的な施策	事業
(3) 子どもを守り・育む環境づくり 	①地域ぐるみの子育て支援	子育てを支える地域活動の推進（子育て団体の育成・支援等）
	②ワークライフバランスの推進	ワークライフバランスに関するセミナー開催・広報啓発活動 / 育児休業（暇）・介護休業（暇）の取得推進 / 男女共同参画に関する中学校への出前講座
KPI	基準値（R2） （実績値の場合は R1）	目標値（R7）
子ども 110 番の家登録件数	160 件	160 件
「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所数	8 件	15 件
施策の展開方向	具体的な施策	事業
(4) 教育力の強化・教育レベルの向上 	①教育力の強化	幼小中一貫教育推進事業 / 英語教育支援事業 / ICT 活用推進事業
	②きめ細かな教育の推進	不登校・いじめ対策事業 / 安心な学校給食の提供
	③地域の教育環境や特色ある教育の充実	地域学校協働活動事業 / コミュニティスクールの設置／ふるさと教育の推進（ふるさと学級・課外学習、ふるさと教育） / 放課後子供教室の開催
KPI	基準値（R2） （実績値の場合は R1）	目標値（R7）
「学校が楽しい」と答えた児童生徒の割合	小学生 92.7% 中学生 86.6%	小学生 95% 中学生 90%
「英語の勉強が楽しい」と答えた児童生徒の割合	小学生 92.3% 中学生 89.8%	小学生 95% 中学生 92%
不登校児童生徒の割合	1.5%	1%未満

基本目標 2	『魅力』と『交流』をつくる ～人とふれあう～
基本指標	年間観光入込客数 基準値 1,059,354 人 (R1) → 目標値 110 万人 (R7)

施策の展開方向	具体的な施策	事業	
<div>(1)「遠州の小京都」を核とした交流・集客の創出・拡大</div> <div><div>8観光交流イベントの開催</div><div>10観光交流イベントの開催</div><div>11観光交流イベントの開催</div><div>15観光交流イベントの開催</div></div>	①地域資源を活かした観光地づくり・周遊促進	観光交流イベントの実施・支援 / 自転車を活用した観光振興 / 宿泊機能強化（コテージ・キャンプ場整備、民泊促進）	
	②観光資源の発掘・魅力向上	町並み整備の推進 / 歴史文化を活かした地域振興（文化財保存活用地域計画策定） / 食・農・健康と連携した観光交流推進	
	③国内外からの誘客促進とおもてなしの向上	外国人の観光交流の推進 / おもてなし体制の強化	
KPI		基準値（R2） （実績値の場合は R1）	目標値（R7）
森掛川 IC 及び遠州森町スマート IC 通行量		1 日あたり 4,688 台	1 日あたり 5,000 台
レンタサイクル稼働台数		802 台	950 台
施策の展開方向	具体的な施策	事業	
<div>(2) 広域交流ネットワークの形成</div> <div><div>8観光交流イベントの開催</div><div>10観光交流イベントの開催</div><div>11観光交流イベントの開催</div><div>17観光交流イベントの開催</div></div>	①周辺市町と連携した産業振興	中東遠地区 5 市 1 町の連携による広域観光振興 / 遠州広域行政推進会議連携事業	
	②友好都市等との交流・連携	友好都市交流事業 / 国際交流事業（海外視察、語学講座、ホームステイ受入れ等）	
KPI		基準値（R2） （実績値の場合は R1）	目標値（R7）
友好都市年間交流事業数		5 件	10 件
施策の展開方向	具体的な施策	事業	
<div>(3) 地域ブランドの創造・プロモーション</div> <div><div>7観光交流イベントの開催</div><div>8観光交流イベントの開催</div><div>11観光交流イベントの開催</div><div>15観光交流イベントの開催</div></div>	①地域イメージ・ブランド力の向上	急須でお茶を飲む町づくりの推進 / 企業・学校と連携した特産品の研究・開発 / 6 次産業化推進事業 / 森林認証を取得した森林の面積増加、認証材の活用 / 魅力的なふるさと納税返礼品充実による地場産品の PR	
	②地域の魅力発信・プロモーション	田舎の良さの PR 事業（森町独自の魅力発信プロモーション） / HP・SNS 等を活用した情報発信（観光協会、移住定住サイト等） / ふるさと交流会の実施	
KPI		基準値（R2） （実績値の場合は R1）	目標値（R7）
観光協会 HP アクセス数（累計）		98,337 件	150,000 件
移住交流 HP アクセス数（累計）		20,535 件	128,000 件
ふるさと納税返礼品登録数		230 件	280 件

基本目標 3	『しごと』をつくる ～人を活かす～
基本指標	町内事業所従業員数 基準値 8,119 人 (R1) → 目標値 9,000 人 (R7)

施策の展開方向	具体的な施策	事業
(1) 多様な人材の活躍の推進   	①若者・女性・高齢者・障がい者・外国人等の活躍促進 ②外部人材の受入れ・関係人口の創出	地域での活躍の場の創出（シルバー人材センター、学校支援ボランティア、障がい者就労支援施設等） / 町若手女性職員による情報発信、政策提案 地域おこし協力隊の受け入れ・移住コーディネーターの活用 / ふるさと交流会の実施（関係人口の創出・ネットワーク構築）
KPI		基準値 (R2) (実績値の場合は R1) 目標値 (R7)
地域おこし協力隊隊員数		2 人 3 人
学校支援ボランティア登録者数		— 150 人
施策の展開方向	具体的な施策	事業
(2) 働きやすさの向上   	①子育て世代への就業支援	多様な保育サービスの提供【再掲】（病児・病後児保育、幼稚園預かり保育の延長、認定こども園化の検討） / 待機児童ゼロ対策事業 / 事業所内保育の促進 / 育児休業（暇）・介護休業（暇）の取得推進【再掲】 / 移住就業支援補助金制度の活用促進 / 共働き世帯への支援、ひとり親世帯への支援 / テレワーク推進事業
KPI		基準値 (R2) (実績値の場合は R1) 目標値 (R7)
待機児童数		16 人 0 人
施策の展開方向	具体的な施策	事業
(3) 地場産業・既存産業の振興・活性化    	①農林業の活性化 ②商工業の振興	青年就農給付金事業 / 認定農業者等育成支援事業 / 森林整備推進事業 / 森林施業の合理化の推進 / 木材利用推進事業 / 6次産業化推進事業【再掲】 / 急須でお茶を飲む町づくりの推進【再掲】 / 茶園における作物転換の検討 商工業関連団体を通じた中小企業支援、金融機関と連携した中小企業向け融資制度や利子補給制度の充実
KPI		基準値 (R2) (実績値の場合は R1) 目標値 (R7)
認定農業者数		70 人 65 人
従業員 4 人以上の町内事業所数（製造業）		83 事業所 90 事業所
施策の展開方向	具体的な施策	事業
(4) 起業創業、新産業の進出等の支援   	①起業・創業の支援 ②企業誘致・新産業の創出	創業者支援事業（ワンストップサービス） / 高校と連携したキャリア教育【再掲】（若者の就業支援） ふじのくにのフロンティアを拓く取組の推進 / 企業誘致ホームページの充実 / 産業用地の確保 / 雇用・設備投資等の支援体制の充実 / 店舗・事業所（サテライトオフィス含む）設置の推進
KPI		基準値 (R2) (実績値の場合は R1) 目標値 (R7)
森町産業立地事業費補助金交付件数		1 件/年 1 件/年

基本目標 4	『安心』をつくる ～“森”との共生～
基本指標	健康高齢者率 （要支援・要介護認定を受けていない高齢者の割合） 基準値 83.5%（R1）→ 目標値 85.3%（R7）

施策の展開方向	具体的な施策	事業	
(1) 健康長寿の延伸・元気な高齢者づくり <div>3 元気で元気に健康と長寿を</div>	①健康長寿の延伸	がん検診事業 / 生活支援体制整備 / 地域医療・家庭医療体制の充実（在宅医療介護連携事業） / 認知症総合支援事業 / 介護予防の推進 / 健康長寿の里づくり	
	②元気な高齢者の活躍促進	住民主体の生活支援サービスの推進	
KPI		基準値（R2） （実績値の場合は R1）	目標値（R7）
お達者度（年齢） ※65 歳から元気で自立して暮らせる期間を算出した値		男性 18.62 年 女性 21.26 年	男性 20.40 年 女性 22.47 年
施策の展開方向	具体的な施策	事業	
(2) 定住環境としての魅力向上と移住促進 <div>3 元気で元気に健康と長寿を</div> <div>4 暮らしの楽しみを増やし、安心して暮らせる</div> <div>8 暮らしがいきいきと元気に</div> <div>11 暮らしがいきいきと元気に</div>	①交通環境の改善	森町地域公共交通計画の推進	
	②移住・定住促進	移住定住に関する情報発信と相談・受入れ支援 / 結婚新生活支援に関する事業の創設と推進【再掲】 / 空き家・空き地の利活用の促進（空き家・空き地バンク、移住コーディネーター） / 店舗・事業所（サテライトオフィス含む）設置の推進【再掲】	
	③町外就学者等の U ターン促進	高校と連携したキャリア教育【再掲】 / ふるさと交流会の実施（関係人口の創出・ネットワーク構築）【再掲】 / U ターンに関する事業の創設と推進	
KPI		基準値（R2） （実績値の場合は R1）	目標値（R7）
公共交通利用者数		298,065 人	30 万人
移住定住促進サイト「TENCOMORI」へのアクセス数（累計）		20,535 件	128,000 件
移住相談件数（累計）		332 件	1,490 件
移住者数（世帯及び人数の累計）		25 世帯（56 人）	73 世帯（170 人）
施策の展開方向	具体的な施策	事業	
(3) 町民活動・地域活動の活性化と効率的な行政経営 <div>3 元気で元気に健康と長寿を</div> <div>10 暮らしがいきいきと元気に</div> <div>11 暮らしがいきいきと元気に</div> <div>17 暮らしがいきいきと元気に</div>	①コミュニティ活動の充実	三世代交流の推進 / 自主防災組織の充実 / 地域及びテーマによるコミュニティ活動の充実 / 多文化共生の推進	
	②協働を基礎とした行政運営	協働のまちづくり推進事業の充実 / 小中学校跡地利活用の充実、公共施設マネジメントの推進	
	③行財政改革・DX 推進	HP・SNS 等を活用した情報発信（ちやっとメール、LINE アプリ等） / 電子申請の推進 / マイナンバーカード取得・活用促進	
KPI		基準値（R2） （実績値の場合は R1）	目標値（R7）
1 日あたり行政サイトページビュー数		202.8 件	240 件
LINE 公式登録者数		—	2,000 人
協働のまちづくり推進事業補助金交付件数		15 件	20 件
施策の展開方向	具体的な施策	事業	
(4) 災害対策の推進 <div>11 暮らしがいきいきと元気に</div> <div>13 暮らしがいきいきと元気に</div>	①防災資機材の充実	備蓄食料の計画的な購入・更新 / 資機材等の更新	
	②災害に対するための人材の育成	実践的な防災訓練	
	③住宅の地震対策の推進	木造住宅の耐震化 / 家具の固定の推進	
	④国土強靱化・防災減災対策	国土強靱化計画の策定と推進 / 河川の浚渫・護岸整備 / 樹木の伐採 / ため池の改修	
KPI		基準値（R2） （実績値の場合は R1）	目標値（R7）
自主防災組織における地域防災訓練の実施率		94.1%	100%
消防団員数の充足率		98.5%	100%
緊急輸送路等沿いの危険なブロック塀の耐震改修等実施率		46.0%	70%

第2期森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

発行：森町役場 企画財政課 〒437-0293 静岡県周智郡森町森 2101 番地の1
TEL 0538-85-6305 FAX 0538-85-5259 URL : <https://www.town.morimachi.shizuoka.jp/>

